

5 月度学術講演会

日	時	5月18日(土)午後2時
演	題	電気の流れて理解する心電図 その2
講	師	国立循環器病研究センター 循環動態制御部 室長 高木 洋 先生
出	席	者数 16名
共	催	ノバルティスファーマ株式会社
情	報	提 供 エクア2型糖尿病治療薬
担	当	富永良子

心電図は10個の電極で12方向から診断。

心磁図;64個のセンサーにて磁場情報で電気活動を記録。電気の流れを見ることができる。

心臓の興奮は、洞結節、右房、左房、房室結節、His 束、Purkinje 線維、心室へと伝わる。

右室はあまり発達しておらず、壁も厚くないため、右室の興奮は遅れると考えられる。

左室は壁が厚く前枝・後枝が密にあり、合目的である。

電気軸について

Q RS 平均電気軸とは心室興奮の平均ベクトルのことで、正常は -30° ~ 110° である。

左軸偏位; -90° ~ -30° 右軸偏位; 120° ~ 180°

年齢により軸偏位は変わることによる。子供は右軸偏位が正常である。

加齢とともに左軸偏位になっていく。

脚ブロック・電気軸異常について

左軸偏位をきたす疾患

左脚前枝ブロック、左室肥大、横位心、下壁梗塞、左脚前枝ブロック+右脚ブロック

B型WPW症候群

右軸偏位

左脚後枝ブロック、右室肥大、肺性心、A型WPW症候群、左脚後枝ブロック+右脚ブロック

脚ブロック(QRS幅の増大)について

右脚は発達していないため容易に切れやすく、左脚後枝は最後まで残る。よって二枝ブロックのなかでも、右脚ブロック+左脚前枝ブロックが多い。

QRS幅が120ms未満で不完全脚ブロック、120ms以上と定義される。

臨床的に問題になるのは、ペースメーカーの適応になる完全房室ブロックの前段階である二枝ブロックである。

完全右脚ブロックに左軸偏位があると前枝ブロックである。完全右脚ブロックに右軸偏位があると後枝ブロックで、これが二枝ブロックである。

脚ブロックの心磁図を供覧し、心電図とは異なる電気の流れを観察した。